

台風で被害を受けた林は 今どうなっているのだろうか？

第20回「風土フォーラム」のお知らせ

10月2日(金) 午後1時～3時30分

見学場所：倒木跡地の国有林（石尊山登山口付近および三ッ石地区）

集合場所：練馬区立軽井沢少年自然の家「ベルデ軽井沢」の駐車場
（国道18号線 西部小学校 西となりの道を北上1.5Km）

講師：東信森林管理署と津田智さん（岐阜大）

参加費：300円（資料代・保険など）

定員：30名（要 申し込み）事務局までご連絡ください。

持ち物：足元のしっかりした靴（または長靴）、傘など雨具、あれば双眼鏡など

★雨天中止 ただし小雨決行（雨模様の場合は事前確認してください）



— 木は倒れても森は生き返る？ その自然の仕組みを学びませんか！ —

2007年の台風9号により、軽井沢では推定1万本ともいわれる木が根こそぎ倒れる大きな被害を受け、国有林でも何ヶ所かで倒木被害がありました。

■一見何も無い風倒木跡地、でも…。台風などでダメージを受けた自然はどのように移り変わっていくのだろうか？

■森林土壌にはどのような種類の種子が眠り、どのように種子は目を覚ますのか？ など

東信森林管理署と、攪乱跡地の植物群落に詳しい津田智先生（岐阜大学 流域圏科学研究センター）の説明・解説を聞き、自分の目で確かめ、自然のダイナミックな営みと人間の適切な関わりを学び、森と人間との関わりについて考えてみませんか。

今年度の風土フォーラムの統一テーマ 『講演記録集第1集(自然・生態)』

自然・農・食・つながり

（製作原価600円）配布中です。

ご希望の方は、事務局へご連絡ください。

●主催／軽井沢サクラソウ会議 ●共催／林野庁 中部森林管理局 東信森林管理署

●お申込み・お問合せ／軽井沢サクラソウ会議 事務局 TEL/FAX 0267-48-3512